

— おもな内容 —

1. よい歯でよくかみよいからだ (1P)
2. 下水道事業が特別会計に  
昭和55年度特別会計 (2P)
3. 行政とのパイプより太く円滑に (3P)
4. 福祉電話の架設 (3P)
5. 横小で148名の入学式 (4P)
6. 横越村高令者大学 (4P)
7. 中学校給食室6月竣工 (4P)



★よい歯で★  
★よくかみ★  
★よいからだ★

6月4日～10日  
歯の衛生週間



あーん、口をあけて！  
—1才半 歯科検診—

3才児の76%は  
むし歯に  
かかっている

村の1歳半検診で、受診児の30%がすでにむし歯にかかっています。さらに3歳児検診では76%の子供がむし歯にかかっています。

左の表からもおわかりのように、三歳児のむし歯保有率は一歳半児の約二・五倍に増えています。又それにも増して生まれて一歳半ですでに30%がむし歯にかかっているのが要注意です。つまり、むし歯予防は乳歯のはえる一歳ごろから三歳にかけての間が、勝負どきなのです。

むし歯の低年齢化一ともいふべきこうした傾向を阻止できるのは、お母さん方の歯科衛生知識と子供に対する愛情であるといえます。

| 年齢  | むし歯の割合 | 一人当たり |
|-----|--------|-------|
| 一歳半 | 三〇%    | 二・八本  |
| 三歳  | 七六%    | 六・八本  |
| 六歳  | 九七%    | 六・六本  |

乳歯は永久歯の水先案内人  
子供のむし歯は一生ひびく

子供の歯—乳歯はいずれ永久歯に抜代わるのだから、少々むし歯になってもたいしたことはない—などと軽く考えていては、後々とり返しのつかないこととなりますからご注意ください。

六、七歳になると、乳歯がぶらぶらになって、やがて抜け落ちますが、この乳歯こそその後にはえてくる永久歯—一生使う大切な歯—の基礎となるのです。

「乳歯は永久歯の水先案内人」といわれるのもそうしたことだから、乳歯にむし歯があると永久歯との交換がうまく

一、徐州徐州人と人馬は進む 徐州いよいか、住みよいか、しやれた文句に振り返りや、お国話りの、おけさ節、龍が微笑む、麦畑この緑な歌を知らない人も多い時代になって来た。

太平洋戦争も末期の昭和十九年九月一日、志願兵として中国戦線に従軍し、終戦後消息がわからなくなり、二十年十二月十一日戦死として、地球上より自分の名前が抹消された。しかし、日中国交で元首相田中角栄氏が新潟県出身であるといふ事を知り、望郷の念にかられ、五年間もオシンのヤミを、台湾名、陳春江さんは三十四年ぶりに、ペンを持ち忘れようと努力した故国日本の文字を家族の寝静った夜思ひ出しながら五晩もかかって書いて出した手紙で横野豊二さんの生存が確認された。去る四月十一日午後一時五十分成田飛行場に三十六年ぶりに着いた。上海より四時間日本の事は聞いておったが、やはり、家族と再会する途は「願イタイ、心カルシイ。」の心境だった。たどたどしい日本語で話してくれた。思えば、横野さんにとって、青春時代とは何であったらう。國の為、と云う教育に依り、三十六年間、良くぞ頑張った精神力に唯々驚いておる。平和日本の今、平和に暮らしておる私達に理解出来ない点も少くなくあつたと思ふが、昭和初期の教育を慮るに守った「生きた英霊」から今さら教育の恐ろしさや、と重要な言葉を贈る。それら、正しい教育とは何であらう？ 本当の教育とは何か？ それが当然である、食生活「シツケ」、生活様式、食生活等を急に安んずる事のむづかしさを知ると共に、幼児教育、家庭教育等も、今一度見直す必要もあるのではないでしようか。(山崎)